

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市鳳公園	
(2) 施設の設置目的	
防災機能を備える身近な近隣公園として、公共の福祉の増進に資するため設置	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 大浜公園事務所	
(4) 指定管理者名	
NPO法人クリーン鳳	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日	
(6) 主な事業	
防災機能が発揮される公園、地域住民に親しまれ、安全で安心な公園、快適かつ魅力ある公園づくりのため、鳳公園において以下の業務を実施。 ○維持管理業務 ・公園施設の点検、修繕等の施設管理 ・除草や樹木剪定等の植物管理 ・落書やゴミのない誰もが気持ちよく利用できるような美化活動の実施 ○管理運営業務 ・防災機能を備えた公園であるので防災訓練の実施 ・利用者への防災等に関する啓発、周知を日常的に実施 ○自主事業 ・災害時での飲料水確保及び平常時でのサービス提供のため、防災機能付自動販売機を設置運営する。	
(7) 有料施設の有無	
無	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
無	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項 (地域貢献等の実績、取組、成果等)

- ・ 鳳南校区の方々と共催で防災訓練を実施し、鳳公園が防災公園であることのPRと災害時に備えての知識の向上を図った。
- ・ 施設の老朽化が進んでいるため修繕すべき箇所の優先順位を設け、修繕を進めた。

(2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳
ア 利用者数 (人)	-	-	-	-	
利用者数の算出 方法	一般公園なので利用者数は把握できていない。				
市による状況分析	一般公園なので利用者数は把握できていないが、終日多くの家族連れが公園を利用されている。				
イ 稼働率 (%)	100	100	100	100	
稼働率の算出方 法	一般公園なので稼働率は100%。				
市による状況分析	一般公園なので稼働率は100%であるため、終日多くの家族連れが公園を利用されている。				
ウ 利用者満足度 (%)	80	80	80	72	
利用者満足度の 測定方法	8月の盆踊りと12月の防災訓練にて合計129人にアンケートを実施し、鳳公園に対する満足度が、非常に満足とやや満足が全体の何割を占めているかで測定する。				
市による状況分析	苦情・要望に対する迅速な対応や日常の維持管理により、公園利用者の満足度は非常に高いといえる。				

(3) 管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	50	50	50	48	48
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数	8	6	6	5	6
ウ 要望、苦情等(件)	1	2	2	0	-
エ 事件、事故等(件)	0	1	1	1	-
市による状況分析	研修においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、業務計画書通り研修を受けることができなかったが、管理運営を徹底したため、今年度は要望・苦情は、1件もなかった。				

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	5,957,000	5,957,000	5,957,000	6,661,110	6,707,408
	利用料金	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	7	0	3	8	0
合 計		5,957,007	5,957,000	5,957,003	6,661,118	6,707,408
イ 支出	人件費	4,039,360	3,931,680	4,186,720	3,992,900	4,656,096
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	599,616 (10.5%)	66,960 (1.1%)	396,980 (6.5%)	46,980 (0.8%)	112,200 (1.7%)
	修繕費	45,412	930,284	604,320	833,610	800,000
	光熱水費	0	0	0	0	0
	その他経費	1,013,689	1,069,638	942,087	898,139	1,139,112
合 計		5,698,077	5,998,562	6,130,107	5,771,629	6,707,408
利用者一人当たりの支出額		—	—	—	—	—

ウ 収支差額	258,930	-41,562	-173,104	889,489	0
--------	---------	---------	----------	---------	---

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	昨年と比べ修繕料は増加したが維持管理体制を見直すことにより人件費を抑えることができ、また樹木管理を適切に行うことにより昨年度より委託料を抑えることができ、昨年度よりプラス収支となった。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------

■自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	542,290	584,486	591,230	636,040	400,000
イ 支出	235,716	227,180	156,765	130,863	180,000
ウ 収支差額	306,574	357,306	434,465	505,177	220,000

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

オ 事業数(回)	3	2	2	2	
----------	---	---	---	---	--

カ 参加者数(人)	570	470	470	550	
-----------	-----	-----	-----	-----	--

主な自主事業	防犯機能付自動販売機設置、防災訓練、地域交流まつり
--------	---------------------------

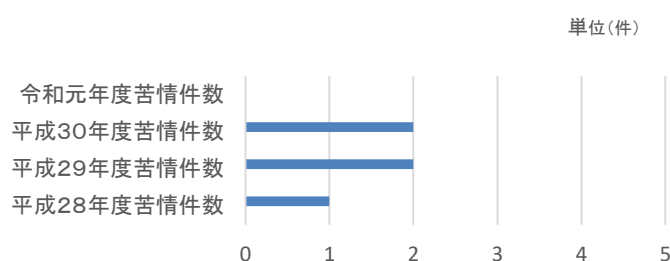
市による状況分析	昨年よりも自動販売機の収入が増え支出が減少したことにより、プラス収支となっている。防災訓練・地域交流まつりは昨年より多くの人が参加し、防災訓練においては、2倍以上の参加者であった。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	利用者の安全確保	(設定理由) 公園利用者が安全・安心・快適に利用するには不可欠な要素であるため。
	目標	施設等の点検を年4回以上行う	(設定理由) 指定管理者の管理瑕疵に係る事故発生件数0件に抑えるため。
	実績	施設点検のチェックリストを用いて週5回施設等の点検を行っている。	(分析) 遊具の点検状況を日報に残し少しでも異常があればすぐさま監督員に報告し、問題を解決するなど適切な管理運営を行った。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

年間苦情件数



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項

修繕すべき箇所を早急に修繕し、遊具が破壊された際は速やかに養生処理を行うなど適切な対応がとられていた。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

特になし。

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	日々の点検を昨年度より留意して行うことにより今年度は管理瑕疵に係る事故は0件だった。また安全管理員間の連携を強化することにより樹木や施設の維持管理を適切に行うことができた。	日常点検を徹底していることにより管理瑕疵による事故が0件であったため。また、日常点検から見つけられた遊具等の異常を速やかに修繕したため。	
対応策等	安全管理員による日常点検をより一層細部に至るまで強化する。	引き続き、日常点検及び定期点検を行い事故防止につなげてほしい。		

評価基準	内容
S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

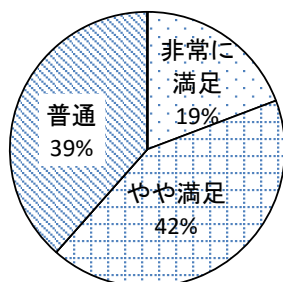
(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	防災や救命に関する体制強化	(設定理由) 「美しく安全な公園」を実現するには不可欠な要素であるため
	目標	遊具日常点検講習や救命講習等を年1名以上受講	(設定理由) 公園利用者が安心・安全に利用できるように管理運営を行うには必要不可欠な技術であるから
	実績	遊具日常点検講習には2名参加した。 救命講習については、予定していた講習会がコロナの関係で受講できなかった。	(分析) 講習等に参加し、習得した技術を管理運営に生かすことにより利用者アンケートにおいても昨年度より高い満足度を得ることができた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

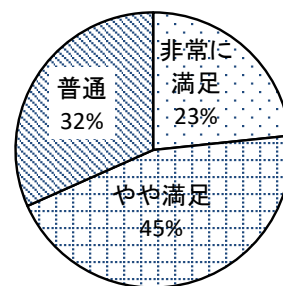
アンケート結果

公園利用の満足度について

平成30年度
n=26



令和元年度
n=60



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項

見回りの強化、防犯カメラの設置

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

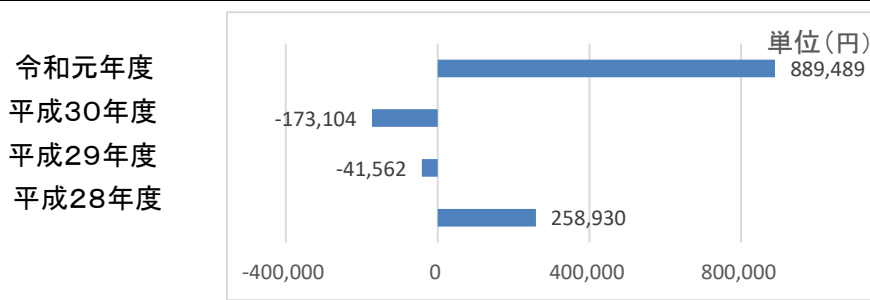
トイレ周辺で悪戯が多いため、抑止力として防犯カメラを設置し、対応した。

評価等	指定管理者の自己評価	市の評価
	評価	B
具体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> 遊具日常点検講習については、すぐに実践に活かせる点検方法を伝授していただき日々の維持管理に役立っている。 救命講習については、今年度はコロナの関係で受講予定していた講習会が中止になった為に参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 救命講習は、新型コロナウイルス感染症の影響により受講できなかったがそれ以外の研修で習得したもの生かし業務計画書通り適切に管理運営がなされていた。
対応策等	今後も引き続き維持管理、救命救急活動を継続して取り組み、次年度は救命講習に参加する。	引き続き苦情がなく、利用者が安全・安心・快適に利用できるよう適切な管理運営を行う。

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	収支の均等	(設定理由) 指定管理料の適正な執行のため
	目標	収益事業が限られた業務のなか、収支バランスを保つ	(設定理由) 管理経費の削減は必要であるが、サービスの低下を招かないように収支バランスを考慮する必要があるため
	実績	施設の老朽化による修繕料の増加はあったが人員配置の見直しにより人件費を抑えることができた。	(分析) 限られた修繕料ながらも修繕すべき箇所の優先順位を設け、修繕を行った。さらに、適切な人員配置をすることにより収支の均等化を図れた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	「防災機能付き自動販売機」を3台設置している。
------------------------------------	-------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし。
-----------------------	-------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	施設の老朽化による修繕料の増加があったが、日頃の見回りの強化や防犯カメラ設置などの維持管理体制の見直しにより悪戯は減少したため、修繕件数が減った。	・昨年度に比べ修繕料は増加したが、適切に修繕し、誰もが安心・安全に利用できる公園を目標とし、管理運営がなされていた。 ・維持管理体制を見直すことにより、昨年度と比べ悪戯の破損による施設の修繕件数が減ったため。	
	対応策等	引き続き人員体制などの維持管理体制を見直し、最低限に支出を抑える。	地元自治会、小学校及び近接商業施設と連携を継続し、誰もが安心・安全に利用できる公園を目標として適切な管理運営を継続する。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの